

◎ 校区に残る
田の神様(2)
<発見>
大花里の田の神様

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

「上西だより」51号（11/10発行）で『校区に残る田の神様』を紹介しました。その時点で大花里の田の神様がどこに眠っているのか不明でしたが、その後の調査で場所がわかりました。また、元あったと思われる場所も合わせて紹介します。 参考資料：「北種子の田の神山」下野敏見

かつて大花里の田の神様は「ケイダ浦」の防風林の所にあつたという。中に入ってみると・・・



田の神様が元あった場所？
その痕跡だろうか。↓



上西校区略図



大広野神社下の海岸
火立の峯をのぞむこの
場所で青田祭を行う。



栢之峯神社境内
祠の中に祀られて
いる田の神様。



横山神社境内
栢之峯と同じく
祠に祀られている。
裏に文久二年(1862)
と記されている。



池之久保
グラウンド
高さ1.5m
ほどの石碑には
「田神」と書か
れている。

←眠りから覚めた三角石の田の神様。右は馬頭観音。長い間忘れられていましたが、今年の11月にこれらが発見されると、地元の方々がすぐに周辺の樹木を伐採してくださいました。

かつて、田の神様があつたケイダ浦には黄金色に輝く稲田が伊勢神社北側の谷まで伸びていたそうです。農業の重要な担い手である馬が死ぬと花里浜に葬り、馬頭観音の前で霊を慰めました。

今、田の神様と馬頭観音は美しい花里浜を眼下にのぞむ高台にあります。

大花里の田の神様と馬頭観音の発見で、近いうちにこの内容が書かれた『ふるさと歴史散歩』（右写真）の看板が立つ予定です。残るは、エビス神社の近くにあるという花里崎の田の神様の発見が待たれます。

